

2025年度(令和7年度)
福山市生涯学習活動費補助金

補助金交付団体 活動紹介



福山市まちづくり推進課

福山市生涯学習活動費補助金交付団体の活動紹介

2025年度(令和7年度)に補助金交付団体として決定した8団体の今年度の活動を紹介します。

団体名	ページ
タイ文化研究会	1
マンドリーノ「空」	2
田尻高島交流館お茶サークル	3
NPO 法人コミュニティルネッサンス研究所	4
福山中央市民大陶芸科(福5C)	5
ふりーすパーす風や	6
福山ミニテニス協会	7
やすらぎの郷楽楽倶楽部	8

タイ文化研究会 「サナーム ナムチャイ」(心の広場)

◇代表 那須 省吾

県東部在住のタイ人との交流を柱に 多文化共生社会の形成に貢献

【活動の概要】

タイとの交流、特に在日タイ人の相互、タイ人と日本人、タイに興味を持つ人達との交流を図ることによって、多文化共生社会の形成に貢献することを目的としています。

初代会長が広島日タイ友好協会の一員であり、県東部在住のタイ人との交流を柱に活動するための一つとして、タイ語会話教室を始めました。毎月第2日曜日、開始当初はローズコムの国際サロンを利用していましたが、現在は参画センターを利用しています。

【活動取材しました！】

取材当日は、第二日曜日でなかったことと、三連休の中日ということもあって参加人数が少なかったようですが、皆さん熱心に、また和気あいあいとした雰囲気の中で学習されていました。

講義はボランティアのタイ人講師と長期の在タイ歴を持つタイ文化研究会の役員が主な講師となり、学習

を進めていました。参加者は事前に配布された資料で予習するなど、意欲的に学習している姿勢がうかがわれました。



また、最近タイへ渡航した参加者からタイ国の近況などを報告してもらって、参加者と情報を共有されていま

した。

参加者からは、「頻繁にタイに遊びに行くことがあるので、タイ語の読み書きを学びたいので参加しています」「タイ語での会話や表示された文字の意味が理解できるようになってきました」「目的は違ってもみんなと学習するのは楽しい」との声が聞かれました。

マンドリーノ「空」

◇代表 内田 友美

生演奏を楽しみ みんなで歌うことで高齢者に元気を

【活動の概要】

ご高齢でコンサート等に出かける機会も少ない方々に生演奏を楽しんで頂き、演奏に合わせて皆で元気に声を揃えて歌うことで、元気になっていただくことを目的に活動しています。それと同時に、メンバーも共感を味わうことがやり甲斐につながっています。

月2回東交流館、月1回西交流館で2時間程度の練習をしています。

【活動取材しました！】

取材当日は東交流館が地域の方に呼びかけ、68人という大勢の参加者が集う中での演奏会となりました。オープニングはNHK「小さい旅」のテーマ曲、その後マンドリンは17世紀の初頭、イタリアから渡ってきたという事で、“さらばローマ”という意味の「アルベデルチローマ」、続いて「シバの女王」「慕情」の演奏が続きました。曲の合間の楽器紹介で、マンドリンはバイオリンと同じ音程で2弦ずつをピックで弾いて演奏すること、マンドラはマンドリンより少し大きく音も少し低いこと、その他にもギターとボンゴの紹介もありました。

「いつでも夢を」「里の秋」「365歩のマーチ」の演奏に合わせて、参加者全員で合唱する場面もありました。ボンゴが中心の「ある恋の物語」や美空ひばりメロディーなど、懐かしい曲を楽しみながら進行役のお話で楽しむことができました。

参加者からは、「楽しく懐かしく聞くことができました」「みんなと歌えて楽しかった」との声を聞くことができました。

メンバーの方は、「昨年10月から月1回のペースで訪問演奏の依頼を受けているので練習するのが忙しいですが、やりがいにつながっています」と言われていました。



田尻高島交流館 お茶サークル

◇代表 藤井 和子

美しい杏の町 田尻町からお茶文化を広めたい

【活動の概要】

美しい杏の町、田尻町に福山市の人々が集いお茶文化を広めてくこと、若い世代の人材育成をしながら、幅広い世代での交流を図り、お茶のおもてなしの心を育むことを目的としています。田尻高島交流館で、一般を対象に毎月第1・3水曜日、こどもを対象に毎月第1土曜日と夏休み・冬休みのこどもクラブで活動をおこなっています。

【活動取材しました！】

取材当日は「夏休みこどもクラブ」の活動日で、小学生がお茶の基本的な作法を教わり、歩く練習やお軸やお花の拝見の仕方を学んでいました。また、座る場所によって正客、次客三客と呼び方が異なり、作法の違いがある事について説明を聞きながらお茶を楽しみました。全員ふくさを持参して参加し、足袋で参加の児童もいました。



活動に参加していた児童からは、「足袋をはきなれないから足が痛かった」「お茶が濃くてちょっと苦かったけど、お菓子がおいしかった」との声が聞かれました。

見学されていた保護者は、「身体の軸がしっかりしていて姿勢よく歩いていた。」「先生の言うことをよく聞いて

学んでくれていると感じた。自宅でも一緒にお茶を楽しみたい。」と話されていました。

3月29日開催の「桜茶会」では、幅広い年齢層の方にお茶を楽しんでもらうため、テーブルと椅子を使用した立礼卓で行うとのことです。会場は田尻高島交流館1階のホワイエで靴のまま椅子に座ってお茶を楽しめ、さらに窓から見える満開の桜がお茶会に花を添えます。サークルの方々は「ぜひ多くの方に参加してもらい、桜茶会が出会いと交流の場になってほしい」と言われていました。



NPO法人コミュニティルネッサンス研究所

◇代表 安川 悦子

高齢者が最期まで役割を持ち 自立して暮らせる楽しい共助の地域づくり

【活動の概要】

福山市の高齢化率は約30%、また三世帯世帯は20年間に約1/3に減少していますが、高齢単身世帯は逆に10%増加しています。増加しているのは単身世帯女性で、85歳以上の高齢者です。こうした高齢者が自立した社会生活を維持できるような地域コミュニティの実現や活躍できる場所を作っていく活動をしています。

今年度は6回の講座を企画し実施しています。

- ・講座1:大阪大空襲の体験談
- ・講座2:高齢者問題の本紹介
- ・講座3:私の健康自慢
- ・講座4:おしゃれを楽しむ
- ・講座5:味噌づくり
- ・講座6:歌の鑑賞「歳をとるほど 大胆になるわ」



【活動取材しました！】

取材当日は、講座3の「私の健康自慢」でした。

参加者一人ひとりが健康自慢を披露し、次に講師により WHO の新しい健康観についてのお話がありました。その後、新聞紙を使って足の指の運動をしました。



最後に一人ずつ、今日の講座についての感想を発表しました。「自分達でできることを程々に頑張ろうと思った」「自分の頭で考え、人生



を豊かにしたい」「高齢社会の地域で、できることを考えるきっかけになった」「いい会に参加させてもらった。これからも参加させてもらいたい」「元気がでました」「住み慣れた所で活躍してもらうために、何ができるか考えられた」「終活だけでなく、今から新しいことを始めたいと思った」など、前向きな意見が披露されました。

福山中央市民大陶芸科(福5C)

◇代表 平井 清人

陶芸を通した生きがいづくり 今まで培ったノウハウを還元

【活動の概要】

月に2回、ふくやま美術館2階の工芸・版画室で作品作りに取り組んでいます。

陶芸を通して生きがいや生涯学習の一翼を担い、今まで培ったノウハウを還元して中心部エリアの陶芸のレベルアップを図る機会を増やす取り組みを目的として活動を行っています。

また、代表者は市の講師派遣事業「まなびんご」に登録し、子ども達へ陶芸体験の機会を提供し、情操教育にも貢献しています。

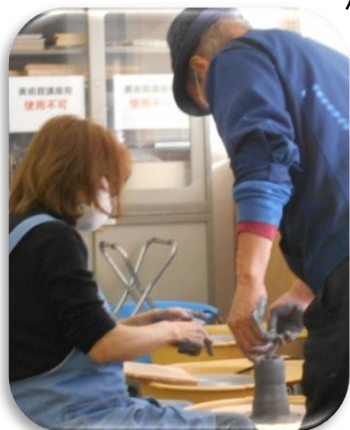
【活動取材しました！】

取材当日は、参加者はそれぞれが作りたい作品(手びねりで置物、電動ロクロで花瓶、マグカップ、皿)を2~3点ずつ作られていました。電動ロクロは普通は3年程度かかるのですが、講師の指導によってすぐに上達するそうです。釉薬(ゆうやく)は33種類あり、比重も調整して重ね掛けや流れも考慮して世界で唯一の作品ができます。

この日も道具の使い方や自分の得意な創作の手法などをお互いに見せ合ったり、各自の作品に感想を出し合ったりして、参加者同士のコミュニケーションがしっかりとれていました。

参加者の声として、「自分が作った作品は一点物なので、愛着

があり、既製品にはない良さがある」「作品づくりをしている時間は集中し、無心で取り組むことができる」との感想を聞くことができました。



会員募集中!

興味がある方は、ぜひお問い合わせください。

【事務局:平井】

090-7974-8988

ふりーすぺーす 風や

◇代表 谷元 絢子

いきいきシニアが社会問題を身近に考え 関係性を深め楽しめる場創りを

【活動の概要】

高齢者が増加する中、地域に開かれた出会いの場、気づきの場、学びの場を設け、いきいきシニアを対象に社会問題を身近に考え、互いの関係性を深め、楽しめる場を創ることを目的とし、月に3、4回、語らいの場を実施しています。

また、講師を招き、「女性の視点で語る震災の話」「今、問いたい平和への道」「暮らしとエネルギーの問題」などをテーマにお話を聞いています。

【活動取材しました！】



取材当日は、「今、問いたい平和への道」のお話会でした。「平和とは、暴力にあわない、みんなが安心して暮らせるということ。人権が尊重されるということが基本にある」「戦争は最大の人権侵害」「戦争の中での日本の加害・被害の状況を知ることが反戦・平和へとつながる」というお話や、戦争を語れる最後の世代から、これからの日本

をつくる世代へ伝えたいことがテーマの、紙芝居「いくさの少年期」と、非戦と平和への願いを込めて、絵本「ひとのなみだ」の読み聞かせがありました。

その後の意見交流では、「父が満州義勇軍として満州へ行き、その後シベリア抑留された。晩年、開拓団の記録誌作成、残留孤児へのとりくみ、慰霊のとりくみを行っていた。生きている間に戦争のことを詳しく聞いておけばよかった」「自分たちが今の情勢などを知るために学習し、交流していくことが大切」という話が交わされました。



福山ミニテニス協会

◇代表 内山 幸光

ミニテニスの普及と健康の増進を図り、更なる技術の向上も

【活動の概要】

生涯スポーツとして開発されたミニテニスの普及と健康の増進と会員相互の交流を図ることを目的に活動しています。その成果として、ミニテニスを愛好する人が増えましたが、技術的な部分指導が必要で、更なる技術の向上を図っています。

今年度の計画として、年間45回の体験会、年間12回の曙学区への指導、年間7回の蔵王小学校への指導を予定しています。

【活動取材しました！】

取材当日は、今年度三回目の蔵王小学校での指導でした。集合してあいさつをした後、ミニテニス体操(準備体操)をし、本日の活動の目標を学年ごとに指導者に伝え、学年ごと3つのコートに分かれて楽しみました。(それぞれのコートに1名~2名の指導者がつきます。)



最後に反省会として、ラケットの握り方の復習と、今日の目標に対してどのくらい実践できたかを話し合いました。

内山さんから「自分が前回よりも今回、今回よりも次回にうまくなっていけばいいのです。次回も、一緒にやってみましょう！」とのお話がありました。

参加した児童は「体育館の中でできるスポーツをやってみたくと思った。相手にきれいなボールが届いた時はうれしい。指導者の方がわかりやすく教えてくれる」「元々硬式テニスをしていたので、ミニテニスってどんなものか知りたかった。室内でできるし、上達も早いから楽しい。来年も引き続きミニテニスを楽しみます」と話してくれました。



やすらぎの郷 楽楽倶楽部

◇代表 渡辺 隆雄

自然豊かな地域で、楽しく生きがいをもって仲間づくりを

【活動の概要】

高齢者の活躍する機会や、ふれあいの場を増やし、楽しく生きがいをもって仲間づくりをすることを目的に活動しています。また、自然豊かな地域にある史跡などを次世代につなげるために資料収集・現地視察・保全活動を行い、観光リーフレットの作成までを目標としています。

活動は、音楽喫茶カフェを毎月第1水曜日の10時から14時まで開設しています。午前中は皆でカラオケを歌い、午後は体を動かしたり、絵画教室を開催したり、趣味活動をしています。また、地域の史跡巡りやお大師さま巡りなど楽しく歩く会、映画の上映やコンサートの開催など、年間を通して広報活動を行い、みんなで集っています。

【活動取材しました！】

取材当日は、うつみ市民交流センターを会場に、「2025年内海生涯学習まつり」が開催されていました。ステージ発表、展示発表、模擬店などがあり、多数の参加者で賑わっていました。



やすらぎの郷楽楽倶楽部も活動の様子や絵画教室で作製した作品を多数展示されていました。

絵画教室の参加者は、「絵を描くことは難しかったが、楽しかった」「みんな美味しそうにスイカを描かれている」「みんなで集まり、話したり笑ったりすることで生活に張りがでる」と、話されていました。

【問合せ先】

福山市市民局まちづくり推進部まちづくり推進課

福山市東桜町3番5号 福山市役所9階

電話 (084)928-1243

FAX (084)928-1229